

第23回世界スカウトジャンボリー「英国派遣団ホームステイ」

期間：平成27年8月8日(土)～10日(月)

ホストファミリーアンケート結果 アンケート協力者13名

◆ホームステイ受入れについて

1. ホストファミリーの経験は、ボーイスカウト以外での受入れも含め何回目ですか。

①初めて	12(92%)
②2回目	
③3回以上	1(8%)

2. 受入れ期間はどうか。

①短かった	5(38%)
②適当だった	8(62%)
③長すぎた	

3. ホームステイしたスカウト等とのコミュニケーションは、うまくとれましたか。

①とても良くとれた	3(23%)
②良くとれた	2(15%)
③だいたいとれた	6(46%)
④なかなか大変だった	2(15%)
⑤とても大変	

4. ゲストの滞在中の様子を教えてください。

(1) 会話

①非常に積極的に話してくれた	9(69%)
②あまり話したがらない	3(23%)
③言葉が通じなかった	

※質問の意図が分かりません。 1(8%)

(2) どのような話をされましたか。(複数回答可)

①日本(宮城県)	7(54%)
②ゲストの国(ウェールズ)	11(85%)
③文化・スポーツ	6(46%)
④食べ物	11(85%)
⑤家族	11(85%)
⑥趣味	7(54%)
⑦学校生活	5(38%)
⑧ボーイスカウト	5(38%)

⑨その他 1(8%)

○ペットの飼い方。街のゴミの少なさ。楽器店(ヤマハ)。エレベーター(ウェールズでは下りはない上りのみ)。スーパーの雰囲気(近くの生協)

5. ホストファミリーを経験してみて如何でしたか。

①とても楽しかった	9 (69%)
②楽しかった	4 (31%)
③まあまあだった	
④大変だった	

6. ホストファミリーを今後もやってみたいですか。

①是非やってみたい	11 (85%)
②やりたい気持ちはあるがまだ分からない	1 (8%)
③やりたくない	

7. ホームステイで一番苦労したこと、又は留意した事は何でしたか。

- ふすま1枚で客間と寝室が接していたので、お互いのプライバシーが守れるか、ゲストがゆっくり休めているか、きになった。
- やはり会話が大変でした。英会話をマスターしないといけないと切実に思いました。
- 布団を用意して本人達に会い足が出ちゃう！と思いましたが、ベットから足が出るより良い！夏だから・・・とそのまま布団で寝てもらいました。
- いかにしてリラックスしてもらうか。
- 英会話が得意でないため意思の疎通。常にノートを持ち、単語や絵で会話を補った。又、アレルギーの対応。こちらが想定していた程、ひどいアレルギーではなかったので対応に助かりました。
- 食事・・・ベジタリアンだったので、メニューには特に気をつかいました。プライベートタイム・・・つかれていたり、帰り仕度などの時間をとれる様にしました。
- 英語がしゃべれないので、言いたいことをうまく伝えられない時に苦労しました。
- 3日間だけなので、スケジュールに少し苦労しました。地区行事と団行事が別々に入ったためそのすきまに自分たちの予定を入れなければならなかったため。かなり時間におわれたかんじになってしまったのが残念です。
- 事前のゲストに関する情報が少なすぎてこまった。メールなどで事前に連絡を取り合ったりしたかった。
- 食事について日本食を経験させたかったが、押しつけにならないように気を付けました。一緒に作る経験とレストラン(和食)と家庭の食事と楽しんでくれたと思います。個室(2人のプライベートな時間空間があるとリラックスできると思って)を与えた。だんらんのと、囃も1人は家族とトランプ等して過ごし、1人は部屋で過ごすなど自由があっよかったと思う。
- どの程度疲れているのか、分からなかったので、起きる時間や外出先、その移動時間などを数個用意し、相談して決めるようにしました。
- 疲れをとってもらえるようには気をつけた。
- 女の子を受け入れたので、プライベートを確保すること。食事について、ホストの私達があまり話せなかった(英語)ため、会話を広げることが難しかった。聞きとりはほとんど出来なかったので筆談や翻訳アプリに頼ることも多かった。

8. ホームステイで一番良かったと思うことはどんな事でしたか。

- お互いの国についてよく知らないことばかりだったが、異なる文化を感じる事が出来たこと
息子と年が近く、英国のスカウトにも親しみやすかった。
- 世界に友だちが出来る事と、いろいろな国と交流が出来る事とても良い体験が出来る事
だと思います
- 息子(小6)が英語を授業で習い始めましたが、必要性をあまり感じていなかったが、同年代の
子供とコミュニケーションをとるには絶対必要だと身をもって感じてくれたこと。
スカウト活動を通して国際的にも活動の輪を広げられる事を感じてくれ、24thWSJに夢を持てた事。
- 意思の疎通が少し出きたのかなと思えた事。
2日目の夕方から市民センターにて12団の参加者(スカウト・親)雀おどり祭連(月組)が集まり
歓迎パーティーを開き、ウェールズスカウト3人にもお囃子の体験、おどりの体験をしていただきました。
食事も一品ずつの持ち寄りにして、全員で楽しめたと思います。
3日目午前中に多賀城にてお茶の先生宅で、ゆかたの着付け、お茶のお手前の体験をしていただきました。
ゆかたは初めてとの事でした(写真等写しています。先方に送る予定です)
- KatieとCaitlinと知り合えたことです。初めは他のイギリススカウトと区別が付きませんでした
一緒に過ごすうちに、二人の性格の違いや間合いが見えてきました。
お別れパーティーの時も、イギリススカウトに紛れていてもすぐに二人を見つけることが出来ました。
- 外人の方と直接生活することができた。子供たちにも海外の方と交流してもらえたこと。
- お互いの意志疎通ができた時。
- 彼らはたくさんのおみやげや、CD-R、写真でウェールズについて、家族について話してくれました。
それが一番良かったです。そのことは私たちの視野を広げてくれました。また、遠くはなれたところで活
動しているけど、スカウト同志という結びつきを強く感じさせてくれました。
帰ってからも2人は私たちにとても感謝してくれて日本が、私たちが恋しいとメールをくれます。
本当にきちょうな経験でした。
- 仲良くなれた事。ウェールズに戻ってからもFaceBookでつながっていられて、
友人が増えたと思えること
- 初めはお互いに言葉も通じず緊張していましたが、帰る頃には、家族のようになれたように思います。
スカウトの国の事を知り、外国の家族ができた事が、子供にとっても良かったと思います。
また、ボーイスカウトのすばらしさも改めて実感できました。
- ボーイスカウトのリーダーのホームステイ受け入れはなかなか無い機会をあたえてもらい
楽しかったです。
- 文化の違いや、外国人へ接することを子供たちに体験してもらいたかったので、
よい効果があったと思う。
子どもたちは言葉は通じないものの、オセロゲームや手遊び、スカウトの布団にもぐりこむなどして
楽しそうにコミュニケーションしていた。

◆ 食事について

1. 食事

①作ったものは何でも食べた	7 (54%)
②食べたいものを聞いて作ったので食べてくれた	1 (8%)
③食生活が違うため違う料理を作った	
④あまり食べなかった	1 (8%)

⑤その他 4 (31%)

○ご飯(米)はとても食べてくれた。おかずはあまり食べなかった。

○あまり意識しませんでした。

○Caitlin は積極的に挑戦したが、Katie は駄目なものは駄目だと教えてくれた。

でも、本人的には頑張って食べてくれていたように見える。

○我が家では はし置きを使っているのですが、お土産を買う時に箸と箸置きをペアで買って行ったので正しい日本習慣を伝えられた感じがして嬉しかった。

2. 食事はどこで取られましたか。

①すべて自宅で家族と一緒に食事をした	
②自宅で家族と一緒に食事と外食もした	13 (100%)

(内容) 朝 4回(4家庭) 昼 17回(13家庭) 夜 11回(9家庭)

3. ゲストは何を一番好んで食べましたか。

○白米、レストランに行ってもパンをとらず、ライスを注文していた。

○1人の女の子はお寿司、もう1人はポテト。

○ご飯・麺類

○普通のパン。サンドイッチ。カレー。シチュー。ジュース(オレンジ系)

○バーベキュー。すき焼。うーめん。カレー。

○野菜---ベジタリアンだったので。

○枝豆。

○手巻き寿司の刺身をたくさん食べていました。また、もう1人は、天ぷらが気に入ったようです。

○めん類。

○果物(メロン、桃、スイカ、キウイ)。唐揚げ。ガーリックシュリンプ。ポテトサラダ。

○お肉。カレー。

○魚介が好きでホタテや鮭を好んでいた。ポテトフライ。

4. ゲストは何が食べられなかったようですか。

○特になかったです。ドレッシングは使わなかった。回転寿司で値段の一番安いものしか食べなかった。

○みそ汁は苦手(!)

1人は完食したが、1人は全く飲まなかった。ただお米(ご飯)はたくさん食べてくれた。

○納豆、赤身の刺身、イカの刺身

○みその料理(しょっぱ過ぎた?)。ペットボトル(お茶)

○寿司、つけもの(Katie)

○肉---ベジタリアンだったので。納豆、わさびなど。

○特になし(2人回答)。

○うめぼし。

○さし身

○ハフレンは酢めしが苦手。あんは2人とも苦手。

(基本的に出したものは全部食べてくれました)(はしの使い方がとても上手でした)

○野菜が苦手な子がいました。

○肉、肉の加工品、納豆、野菜もあまり手をつけていなかった。

5. 食事について苦労したこと、又は留意した事は何でしたか。

○食事量が足りていたのか。本当はもっと食べたかったのではないか。

聞いても遠慮していたようだった。

○苦労したことは、聞いても「何でもいい」と言われて大変だった。

○初日にUKでの食事を聞くと朝はシリアル、夜はパン・パスタ

何を食べたい? パンはWSJですとパンだからパスと言われ麺とのことで

日本食をチャレンジしたいと言うので楽でした。

○特になし(3人回答)。

○ジャンボリーの疲労もあるのか、少し食欲がなさそうだったので、食べやすそうなものにしたり、

選択できるようにした。1日5~6回は飲んでいいる紅茶を日本ではあまり飲んでいないということだったので、紅茶を出すように心懸けた。

○ベジタリアン料理のメニュー検討。

実際は何が食べられないかを当日直接聞いたので対応できました。

また、事前に直接聞いていただきましたので助かりました。

○我が家は、5人家族のため、まとめて作った夜のごはんはともかく、個別でおかずがつく朝食作りは大変でした(7人分・・・)

○たこ焼とかピザとかいなり寿しとか一緒に作った。食事を楽しんで欲しかったので。

○日本の食べ物に関しては、説明して、無理には食べさせずらせていました。

○生ものは選択しないようにした。(食中毒を考慮して)

○肉アレルギーとベジタリアンの子だったので、何を食べられるのか初日に確認した。

◆生活について

1. ホームステイ中の外出先等(行動)について、提案したのはどちらからでしたか。

①ホストファミリーから提案した	9(69%)
②ゲストからの提案	
③お互いに相談しながら決めた	4(31%)

2. 外出先等(行動)は、どのようなところでしたか。

①ショッピング	7(54%)
②食事	9(69%)
③レジャーランド(遊園地)	1(8%)
④観光	11(85%)

⑤その他 5(38%)

○中学校の部活の見学

○剣道の稽古

○関上朝市、他の外国人や中学生の集まるパーティーに招待した。

※よろしければその施設名をご記入してください

○秋保

○蛇田石巻ジャスコ。日和山公園。神社。まんが館。

○100円ショップ。青葉城跡。松島。塩釜神社。

○塩釜神社、仙石線に乗ってもらいました。近くの生協。藤崎百貨店。一番町界隈の店。

高砂市民センターにて雀おどり(お囃子・踊り)を体験していただきました。

お茶のおてまえ。着付け体験。

○ことりハウス。弥治郎こけし村。白石城。市役所。スーパー。本屋。うーめん屋。

○松島。蔵王。

○松島。竹駒神社。青葉城跡。回転寿司。

○イオンモール。古民家のそば屋。サンファン館。

○マンガ館。せんだいうみの杜水族館

○ウェスティンホテル 一舞庵(和食)ブッフエスタイル。100円ショップ。300円ショップ。

しまぬき。ロフト。阿部かまのひょうたん揚げ等食べ歩き。

○ダイソー。ひな野。青葉城跡。松島。秋保大滝。竹駒神社。喜久水庵。

3. 英国スカウトは日本の生活習慣やマナーについて、どんなことに直ぐに馴染んでくれましたか。

○ふとん。毎日押し入れにしまい、使う時に敷く。

○あいさつは気持ち良くしてくれた。部屋でゆっくりとくつろいでくれた。

○事前にレクチャーがあったのか、家の中で持参のスリッパをはいていました。

くつもそろえてぬいでました。

○ハシの使い方。畳での生活。

- 玄関でくつをぬぐこと。畳や床に直接座ること。お箸を使うこと。
- みんなでそろって食事すること（いただきます→ごちそうさま）
- 何でもなじんでいたようです。
- 靴をぬぐこと。「いただきます」「ごちそうさまでした」のあいさつ。
- 気になることはないくらい普通になじんでました。
- 2人とも、お風呂がとても気に入ったようで、家のお風呂の他、銭湯にも2日連れて行きとても喜んでいました。

4. 日本の生活習慣で理解してもらうのが難しかったことは何ですか。

- スリッパは畳の部屋に入る前に脱ぐ。
- お風呂（シャワーしか使用しなかった）
- 生活習慣ではありませんが、観光で青葉城や松島等へ行きましたが、参拝ゾーンには入って来る事がなかった。宗教的な事をものすごく厳しく感じました。
- 特になし(5人回答)。
- スーパーでお盆の飾りについて聞かれたが、語り不足で説明出来なかった。
きっと、もっと色々質問したかったと思うが、こちらのレベルに合わせて質問してくれていたように思う。
- 障子の扱い方。トイレタンクの上に水が流れていることにびっくりしていました。
- 最初にふとんをたたむことを伝えなかったので、敷いたまま荷物を広げたり、何かするかたちになってしまい、失敗したと感じました。(こちらから伝えた事をきちんとしてくれていたのです。)

5. 英国人と生活習慣の違いを一番感じたのは何ですか。

- 全て、こちらのペースにあわせてくれていた。
- 食事の内容（朝はスナック菓子と言っていたのでビックリした）
- 日本人は、仏教徒でも観光の時は割り切って観光するのにな・・・と 特に宮城の観光地は神・仏が多く、他にどこへつれて行けるのか今後も含め考えてしまいました。
- 風呂。シャワーの時間の短さ。
- 入浴習慣。一応、温泉にも誘ってみましたが予想通り無理でした。
- 特に感じませんでした。
おそらくウェールズのスカウトが、日本の文化に合わせてくれたのだと思います。
- スリッパを畳の部屋でもぬがない。
- 湯船に入らずシャワーのみ。
- 食事の食べ方。お皿を持たないことや、残し方。
- 箸の使い方。

◆県連盟について

1. 6月14日(日)に開催した「ホームステイ説明会」では、知りたい情報を得られましたか。

①とてもよく得られた	1(8%)
②だいたい得られた	9(69%)
③不足であった	2(15%)
④全然得られなかった	

2. ホストファミリー受入れとして一番聞きたかった事は何ですか。

(説明会で説明があったこと、説明がなく知りたかったことなど・・・)

- ゲストはどの位の荷物をもって来るのか。アレルギーや宗教上、行ってはいけない。食べてはいけないものがあるのか。その場合、どう対応するのか。
- プロフィールを詳しく知りたかった。
- ゲストのスカウトの情報をもっと早く知りたかったし、顔写真くらいの情報があれば迎える時からもっとフレンドリーにできたかも・・・
- 事前に当方の家族について情報提供出来ればもっと良かったかと思います。
- 生活習慣の違いや対応の仕方。ホームステイの手引きやウェールズについての情報など事前に頂けたのでよかったです。
- 初めてのホストファミリーだったので、全てが知りたかったことで、説明会では、ほぼ知ることができました。
- 十分だとおもいました。
- 客としてではなく家族として接すること。外国式にあわせる必要がないこと(日本の一般家庭の体験)自己紹介の必要。これらは、説明されていて本当に助かりました。
- 県連に情報がないとは言え、ゲストに関する情報が聞けると行って行ったのに、名前と年齢しか教えられず残念だった。
- 主食が何か聞いておけてよかった。
- 受け入れるスカウトの情報。趣味や家族の事など、どんな子供なのか、情報があると良かったです。
- 1人はアレルギーで、1人はベジタリアンだったため、特にくわしくどの食品なら食べられるのかははっきりしていると良かった。結果的に肉のみ食べられず魚介や卵、牛乳はOKだったため、食品を買いたすこと、外食することが多くなった。

3. 8月8日(土)の仙台空港での受入れについては如何でしたか(良かった点、改善点など)。

- 準備が十分なされていて、すぐに対面することができた。やや、セレモニー、写真など時間がかかっていたように思う。ゲストは長距離移動してくるので。
- とてもよかったと思う。
- 事務局同士の打ち合わせが密にされていなかったのか、初めの説明通りのプログラムで動き出したら歌の披露があったりで、何かズッコケた感じがしました。
- 特になし。
- 良かったと思います。横断幕やウエルカムボードなど歓迎の気持ちが伝わりやすかったと思います。ただ、ホストとゲストの顔合わせの後、解散のタイミングが分からずゲストをレストルームに行かせてしまい、合唱に参加させてあげられなかったことが申し訳ないです。
- 我々が空港内の通路を専有してしまっていて、他の利用している方に迷惑ではなかったか・・・が気になりました。
- テレビ局などを呼んで、ボーイスカウトをアピールしても良かったのでは？
- 全体的に良かったです。
- 他の利用者に迷惑をかけているように思えた。
- 横断幕を掲げたのは良かったと思います。
- 名前のカードや“ようこそ～、の幕が良かったと思います。ただ何となく少しさみしい感じのお出迎えのように感じました。

4. 8月10日(月)のお別れパーティーについて如何でしたか(良かった点、改善点など)。

- ゲストが喜んでくれた様子だったので良かったと思う。
- 夜だったので見えにくく、探すのが大変だった。写真がとりにくかったが、とても和気合さにできたと思う
- チーフリングの交換?の説明があやふやで、我が家のゲスト2人はすぐチーフリングがコケシになっていたり、1家に2人なのに1コのチーフリングを渡されて・・・
説明が良くわからなかったし、唄の交換にしても逆にはずかしいくらいに感じました。
「バス待ち」のための時間つなぎな感じがあらわになった気がしました。
- ホストファミリー別にテーブル配置していただけても良かったかと思いました。
- ゲストとホストが名残を惜しんだり、ゲスト同士が久々の再会を喜び合う様子が見れて良かったです。
他のホストの方とお話しする機会ももてました。
- 受付で渡されたコケシのチーフリングの扱いが最後まで理解できませんでした。
その人に質問しても、その人達も理解してなくて困りました。
全体の流れも、その場でアドリブだった様に見えてしまっていました。
もう少し流れを決めておいた方が良かったかと思いました。
- お別れパーティーのタイムスケジュールを知っておきたかったです。
- 投光器がまぶしく全体が見えにくかった。ランタンやキャンドルでもよいかな?
あと、駐車場で車の出入りがあったので少し危ない気がした。
- 意味がないと思った。整然とした日本らしさがなかった。
- 歌う歌は事前に決めてあったらよかったかもしれません(知っていたら練習した?)
“上を向いて歩こう”の選曲は良かったと思います。
- ウェールズスカウト達は久びさに仲間に会い、色々と話が盛り上がっていたようでしたが
ウェールズスカウトとホストファミリーが分かれていた感じだったので、一緒に何かができるようなのがあれば、良かったと思います。
ネッカリングの交換も、こけし⇄こけしの交換ではなく“ウェールズ”のリングと交換、もしくは同じこけしでも、名前を書いてから交換した方が、交換の意味があったのではと思いました。
- お茶やおかしで最後になごむ場ができていて良かった。
最後に皆で集合写真をとりました。
- 屋外でお別れパーティーをするとは思ってなかったので驚きました。
集ってから何をするのか流れがあまりわからなかった。

5. 今回のホームステイの件について、県連盟へのご意見、要望、改善点などございましたらご記入ください。

- このたびは貴重な体験をさせて頂きました。迎えるまで緊張しましたが、さすがスカウト、礼儀正しく明るく、親切で頼もしい2人でした。
2人以上でなければ受入れできないというのが残念でした。1人でも可であればもっと多くの家庭で受入れたかったはず。いろいろ事情はあると思いますが近隣なら1人ずつでも可とか。
- 又、ホームステイ受入れをして欲しいと思います。ずっとウェールズの方々との交流を希望します。
ウェールズに行ってみたいと子供は話しています。
- ホームステイ先を募る時、募ってから決定しても情報がどうなっているの?という事が多く、説明会時UKとコンタクトが取れなくてと話してましたが受入れる方としては、精一杯のおもてなしをしたいと思って準備していましたが、直前に食べ物に対するアレルギーやベジタリアンという情報が来た方は、アタフタしたと思います。そのような情報はWSJに参加する時に提出されてないのでしょうか。
2泊3日では、短すぎて・・・何もかもが中途半端だったように思えた。

同じ団のスカウト達と交流する事もできなかったし、残念です。

一家に二人受入れる負担・・・二人に満足してもらえる様に・・・と考えると年齢の違い、性格の違いで片寄ってしまったか。とか・・・又、受け入れ希望者が多く？受け入れ断念の家もあったのに・・・二人を受入れはどういうことだったのか。

受け入れたい人がいるのだから、一家一人受け入れはできなかったのか・・・と。

それでも、とても良い経験をする事が出来ました。ありがとうございました。

○今後もこのような機会があれば再度参加させていただきたいと思います。

○今回のホームステイについては、色々ご配慮頂き有難うございました。

おかげさまで、三日間を無事に過ごすことが出来、二人を笑顔で送り出すことが出来ました。

当初は不安でしたが、おかげさまで貴重な体験をさせて頂きました。ありがとうございます。

ただ、アンケートについてですが、ゲスト2人いて1人ずつ反応が違うので答えにくい箇所もありました。

○今回はこの様な素晴らしい機会を与えていただけた、県連の方々には心よりかんしゃしております。

スカウトに関わって本当に良かったです。今後とも何かありましたら協力させて下さい。

ありがとうございました。

○今後も機会があったらやってみたいと思いました。

○いろいろと大変な準備だったことでしょう。おかげ様で大変素晴らしい体験ができました。

ウェールズ隊と宮城隊の縁をこれからもつなげていってほしいと思います。

宮城のスカウトがウェールズにホームステイに行くなんてことができたらいいと思っています。

○何につけても事前の情報がなさすぎて、困りました。

食べ物など、何の事故もなかったから良いが、もう少し情報をいただき、安心して受け入れ体制を作りたかった。

○今回、ホストファミリーをさせていただきありがとうございました。

ホームステイが終わった後も、彼らと連絡を取っています。

今度は会いに行こう！と子供と話をしています。海外のスカウトと出会えた事、とても良い経験ができました。とても素晴らしい経験ができる世界ジャンボリーに、ぜひ子供を参加させたいとおもいます。

最後になりましたが、今回のホームステイに関して、県連の皆様のご尽力をいただき、

心から感謝申し上げます。

○空港と県連事務所での大まかな進行表をウェールズのリーダーに説明できたら良かったのではと思った。

(リーダーが戸惑っていた)

ご協力ありがとうございました

日本ボーイスカウト宮城県連盟